

特集

優れ人 なんぶなん

南部の自然、ご家族の温もりに育まれた歌い手の
メロディーにのったメッセージが今、大きな舞台（そう）へ飛び出した!!



望月友美さん(柳島) 声楽部門1位に輝く!

10月20日 若手音楽家の登竜門と言われている「第75回日本音楽コンクール」が東京オペラシティで行われ、声楽部門に出場した望月友美さんが見事1位に輝きました。

同部門の本選は、8月の応募者93人による予選会を勝ち進んだ9人で行われました。

友美さんはメゾソプラノ。

当日は、少し体調を崩していたものの、それを感じさせない歌唱力で、同部門では県内初の快挙を成し遂げました。

友美さんの更なるご活躍とご健勝をお祈りいたします。本当におめでとございます。





不安を打消す 自信

3カ月ぶりに帰国した望月友美さん。この度の受賞の喜びを聞かせていただくために南部町柳島の自宅を訪ねました。家の外まで聞こえる美しい笑い声。久しぶりの家族団らんを楽しむ友美さんの晴れ晴れとしたその笑い声に、しばらく耳を澄ませる。まさに1位を勝ち得たとびきの笑い声。そしてビツクリ。なんと美しい「こんにちは」・・・

「まさか私が1番になるなんて、本当に驚いてます。」「歌っている間中、脚がガタガタ震えてました。でも、それが分からないようにどう歌うかです。」「愛犬「マロン」と遊びながら話す友美さんにおごりのかけらも感じない。コ

人一倍努力する 頑固者

ソクール本選に進んだ9人中、「私が知っている人は一人かなー。でも、皆さんは私のことを知っていたようです。驚きました。」と笑つ。周りにとらわれず、自身の歌唱力を磨くことだけに集中していたことが伺える。

友美さんは県立身延高校を卒業後、国立音楽大学器楽科ユーフォーラム専攻に入学。1998年（平成10年）、卒業と同時に声楽に転向し、その年の夏、両親の反対を押し切り単身渡仏。住むところ、行き先さえも決まらぬままの決断だった。ただ友美さんには、世界の舞台で歌う自身の姿しか見えて

いなかった。「進むべき道を見据え、まっしぐら。頑固な娘です。」と母親が語る。

2001年（平成13年）、パリ国立地方高等音楽院CNR楽科を、2003年（平成15年）にはパリ市立17区ドビュッシー音楽院を主席で卒業。現在、ヨーロッパ各地でソリストとして活躍中。また、ドイツ国立カールスルーエ音楽

大学のエリートクラスで歌曲解釈法も勉強中の友美さん「歌曲は言葉・歌詞を理解し、音楽と融合させて、私なりの表現で聞き手に伝える。だから、私が勉強しなければ。」「私の歌が皆さんの心に響くよう、もっともっと頑張ります。」「と生き生きと語る。その視線は確実に世界の大舞台へと向いていた。

日本音楽コンクール

音楽家の登竜門として最高の水準と伝統を誇るコンクールで、今年で第75回を迎えた。これまで数多くの有望な新人音楽家を世に送り続け、世界の音楽文化の振興に寄与している。第1回は1832年（昭和7年）増沢健美氏などの発案により「卓越せる実力を有する音楽家の推薦」「楽壇レベルの向上」を目的として、野村光一氏や堀内敬三氏ら楽壇の有力者の協力により発足したものだ。

第75回 日本音楽コンクール

受賞者発表演奏会

日程 19年3月6日(火) 17時30分開場
会場 東京オペラシティ・コンサートホール
問合せ ☎03-33212101 87

山梨県知事選挙

投票日

平成19年1月21日(日)

各投票所 7時～20時

※ご注意を

*投票区域の変更

*投票所の変更

天王者の有権者は
活性化センターでの投票に変わります。
向田区・御堂区・皐月区の有権者は
老人福祉センターでの投票に変わります。

期日前投票

平成19年1月5日(金)～20日(土)

活性化センター

8時30分～20時 全ての有権者

分庁103号室

8時30分～18時 南部地区の有権者